

こんにちは！

第8回

地域おこし協力隊 浅野めぐみです



茨城県出身。宮城県の大学で観光まちづくり学を専攻。出会った智頭町の人々のあたかさに心を動かされ、卒業と同時に移住。現在は地域おこし協力隊として、毎日奮闘中。智頭町が誰かにとっての「第二の故郷」となるような、心温まる場所をつくりたい。その想いを胸に、地域の皆さんと共に力を合わせ、日々活動を続けています。

智頭で感じる季節の変化

智頭で暮らしていると、季節の変化が暮らしのすぐそばにあると感じます。春には草花が芽吹き、夏には緑が深まり、秋には実りの季節を迎え、冬は静かな時間が流れる。どの季節も急に変わるものではなく、少しずつ移り変わっていくのがよくわかります。忙しい毎日の中でも、空の色や風の匂いから季節を感じられるのは、智頭での暮らしではなのかもしれません。

待つ時間が教えてくれること

先日、「みたらじ（第3回）」の取材の中で、「雪の中で過ごす時間があるからこそ、春の訪れを待つ楽しみが生まれる。桜の満開を、より楽しめる」という言葉を耳にしました。その一言をきっかけに、これまで当たり前だと思っていた智頭での季節の過ごし方を、あらためて考えるようになりました。冬の静かな時間や、少し不便に感じることも、次の季節を迎えるための大切な時間なのかもしれないを感じるようになりました。

暮らしの中で気づく変化

こうした感覚は、日々の暮らしの中でも自然と感じるようになりました。畠の様子や、町の人との何気ない会話の中から、「そろそろ春だな」「今年は暑くなりそうだな」と季節を意識することが増えています。関東で暮らしていた頃には、季節の変化をここまで考えることは、あまりなかったように思います。今では、暮らしの中で季節を感じ、その変化を町の人と共有していることに、あたかさを感じています。

今月の予定とこれから

こうした日々の気づきは、協力隊としての活動にもつながっています。今月は、活動を振り返る報告会も予定しています。智頭で暮らす中で感じたことや、季節の中で見えてきたことを皆さんと共有できる場になればと思っています。これからも、季節の移り変わりを大切にしながら、智頭での暮らしと仕事に、丁寧に向き合っていきたいです。



麒麟のまち INFORMATION

第43回 鳥取市

鳥取砂丘砂の美術館

第17期展示「砂で世界旅行・スペイン編」

4月24日(金)に開幕する第17期展覧会のテーマは「スペイン」。世界的建築家アントニ・ガウディの没後100年の節目にちなみ、サグラダ・ファミリアなど世界遺産をはじめ、スペイン黄金時代の歴史文化など、「情熱の国」スペインの魅力を砂像で表現します。

[ところ] 鳥取市福部町湯山2083-17

[会期] 4月24日(金)～令和9年1月3日(日)

午前9時～午後6時

(最終入場: 午後5時30分)

会期中無休 ※4月23日(木)までは休館

[観覧料] 一般 800(600)円

小・中・高生 400(300)円

※()内は前売り・20人以上の団体料金



次は
砂で世界旅行
スペイン



2026年4月24日(金)～2027年1月3日(日)
開館時間：9:00～18:00(入館は17:30まで) 会期中休
館内料金：一般 800円(600円) 小・中・高生 400(300)円、高校生以上 450(350)円、英語字幕料金
※()内は前売り・20人以上の団体料金

鳥取砂丘 砂の美術館

【問合せ先】

鳥取市観光・ジオパーク推進課

TEL 0857-30-8291

FAX 0857-20-3947

次回、智頭町へ！